

ポイント

子育て家庭の孤立を予防し育児不安の解消につなげるため、「子育て」を軸に住民同士がつながり、地域全体で子育てを支え合う取組を推進



子育て応援キャラクター「るんだ」



KPI	基準値	現在の状況	目標値(R5)
■ 住民参加型の子育て支援 ・地域ボランティア事業実施箇所数	-	12箇所(R4.11)	18箇所
・ファミリー・サポート・センター提供会員数	906人 (R3)	946人(R4.9)	1,050人
■ 安心して子育て出来る体制 ・産後ケア事業利用者数	7% (R2)	9.6% (R3)	15%
・子育て応援パスポートアプリDL件数	-	-	8,000件
・こうちプレマnetアクセス数	93,666件 (R3)	97,134件 (R4.11)	140,000件

■ 高知県が『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」ができるような社会』になっている

R1:28.1%→R2:29.2%→R4:22.0%  
⇒R5:45.0%

現状と課題

【地域における子育て支援】

○コロナ禍により、地域子育て支援センターの利用者は減少しているものの相談件数は増加するなど、育児不安を抱える家庭の孤立化が懸念される中、身近な地域で不安に寄り添う敷居の低い相談体制や、地域住民による見守り体制の充実が必要

(地域子育て支援センター延べ利用者数：(R2)149,027人→(R3)142,748人、相談件数：(R2)10,129件→(R3)14,210件)

▶ 住民参加型の子育て支援を推進

【子育て支援サービスの状況】

○産後の心身のケアや育児サポートに効果的な産後ケア事業の利用率はR3年度で9.6%にとどまり、県内全域で普及拡大に向けた取組が必要

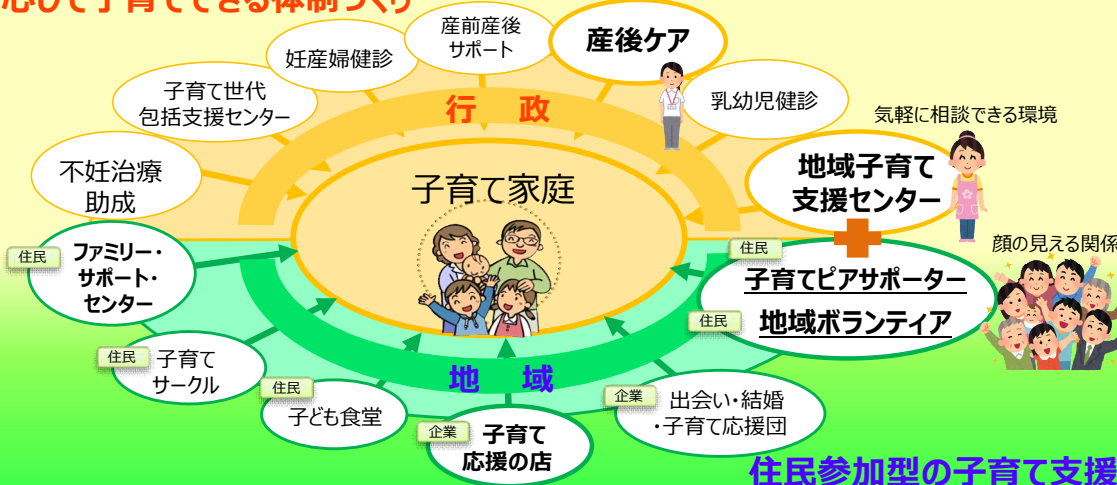
○認知度が低い「子育て応援の店」を活性化し、官民協働で子育てに優しい地域づくりを進めることが必要

(子育て応援の店協賛店舗数 (R3) 483店舗、認知度 (R4) 23.8%)

▶ 安心して子育てできる体制の強化

地域全体で子育てを支え合う取り組みの推進

安心して子育てできる体制づくり



住民参加型の子育て支援

情報発信の強化

【こうちプレマnet・プレマLINE】 【高知家子育て応援パスポートアプリ】  
住民・子育て支援サービスの紹介 企業・子育て応援の店の利用促進と情報発信



令和5年度の取り組み

(1) 住民参加型の子育て支援

- 新・敷居の低い相談体制の構築 (子育てピアサポーターの配置)
- 拡・住民参加型の子育て支援の推進 (地域子育てボランティアの拡大) (ファミリー・サポート・センター事業の拡充)

(2) 安心して子育てできる体制づくり

- 新・産後ケア事業の利用拡大 (各地域の課題に応じた利用率向上の取組を支援) ・特定不妊治療への助成
- 新・子育て応援の店のアプリ化 (高知家子育て応援パスポート) による子育て支援サービスの利用促進とプッシュ型の情報発信 (地域で子育てを応援する機運の醸成)